



# 萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより 9号

平成29年11月24日

目指す子供の姿

やさしく

かしこく

たくましく

「自分がよくて みんなもよい」

校長 金三津 ひろみ

これは、以前わたしが勤務していた学校で、ある学級の学級目標として掲げられていた言葉です。その学級の担任は、わたしよりもずっと若い20代の男性教員でしたが、何て素敵な目標を掲げたのだろうと、少しうらやましく思いました。今ではもう、15年ほど前のことですが、それ以来、わたしの心の中にずっと残っている言葉です。よく似た言葉に、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉がありますが、わたしは、この「自分がよくて みんなもよい」の方が好きです。

自分の気持ちや自分のことを第一に考えるのは、当たり前のことであり、自分を大事にするのは、とても大切なことです。自分のことよりもみんなのことを優先するというのではなく、「自分にとってよいことで、みんなにとってもよいこと」を考え、行うことができれば、「居心地のよい空間や時間」をみんなで共有することができるのではないかと思います。

学校では、日々、大小様々なトラブルが起きます。「〇〇君が嫌なことを言ってきます」「〇〇さんが～してくれません」などの訴えは、毎日のように職員室に届きます。学校ではその都度、双方の言い分を聞き、互いが思いを伝え合うことができるよう手助けをし、解決を図るようにしています。子供たちの話を聞いていると、トラブルの多くは、「相手の思いや気持ちが分からない」ことに起因しているように思えます。けれども、友達や教師、家族等も含めて「自分以外の人の気持ちが分からない」のは、子供にとっては無理のないことかもしれません。

ある雑誌に、筑波大学学長の永田恭介さんが、

「日本人の唯一の欠点は、相手は自分と同じだと思って物を考え始めるところ。まず、相手は絶対に違うところからスタートすると大概はうまくいく。違いを認めると言うことは、相手をリスペクト（尊敬）するところからスタートしなければならない」と書いておられました。

わたしたち大人も、自分と違う考え方を理解しにくかったり、「普通は〇〇だ」などと、自分の感じ方が当たり前であるように思ってしまうことがあります。まして、人と関わった経験や数の少ない子供にとっては、自分と違う考え方や感じ方をする人もいることを理解するのは容易なことではないのかもしれません。

だからこそ、学校という場で、いろいろな人と関わり、いろいろな意見に出会い、ときには小さなトラブルを乗り越えながら、「相手は自分と同じではないこと」「違いを認め、相手を尊敬することの大切さ」を学ぶ必要があるのだと思います。このように考えると、日々起きている様々なトラブルは、子供たちが「自分がよくて みんなもよい」にたどり着くための学びの機会であり、大人の側からすると、子供たちに大切なことを伝え、気付かせる絶好の機会であるとも思えます。もちろん、心や体に傷を残すような取り返しのつかない出来事から子供を守ることは、わたしたちに課せられた重要な役割であることは言うまでもありません。同時に、わたしたち自身が子供の手本として「違いを認め、相手を尊敬すること」を身をもって示していきたいと思えます。

## 黒部地場産学校給食の日

11月13日(月)、市内各小学校では、給食食材の生産者の方や地域の方々をお招きし、黒部産の食材を多く使った給食を味わうふれあい会食を行いました。本校でも、能澤副市長、荻野PTA会長等、7名のお客様をお迎えし、「きびおこわ、黒部の豚汁、海の里のめぐみ甘酢がらめ、なめこ入りおひたし」等の献立で会食しました。

給食委員会による「食材クイズ」もあり、子供たちは、黒部産の「なっちゃんなめこ」や「名水ポーク」、「ねぎたん(ねぎ)」等についてグループの友達と仲よく話し合いながら、楽しく会食しました。近くのお客様からの質問に答えたり、牛乳パックのたたみ方を説明したりする姿も見られ、まさに「ふれあい会食」となりました。お客様からは、「どの子も残さず、おいしそうに食べていた」「ごみを減らすために牛乳パックをたたんでいることを説明し、自分の分もたたんでくれた」など、子供たちの様子を褒めていただきました。

ふれあい会食は年に1度ですが、黒部地場産学校給食の日は、毎月設定されており、おいしく味わうことを通して、地域の産物に対する理解を深める機会となっています。

副市長さんとも楽しくお話ししました



7名のお客様の紹介です

## 楽しかった！おいしかった！温まった！「荻生地区 収穫祭」

11月11日(土)、荻生地区恒例の収穫祭が、荻生の館、トレーニング・センター、荻生小学校を会場に開催されました。雨交じりの日でしたが、児童、保護者・地域の皆様約250名が参加し、盛大な収穫祭となりました。

1～3年生は、トレーニング・センターで山口前公民館長さんによる「スポーツ教室」、4～6年生は学年ごとに、ぶた汁作り、おにぎり作り、餅つきに取り組みました。その後、参加者全員がランチルームに集まり、つきたての餅や手作りのおにぎり、温かいみそ汁をおいしくいただきました。地域の諸団体協力の下での手早い準備や当日の運営に、「荻生の子供たちのために」という熱い気持ちを感じられ、心まで温くなりました。

子供たちの様々な体験にご協力いただいた地域の皆様、PTA 母親部会の皆様から心から感謝いたします。ありがとうございました。



荻生の館での迫力満点の餅つき



体も心も温まったランチルームでの会食

## 公民館祭りに参加しました

10月29日(土)30日(日)、荻生の館、トレーニング・センターにおいて「荻生公民館祭り」が行われました。本校の子どもたちも、絵画や書写の作品展示や3年生による「よさこい」発表、大正琴クラブの発表等で参加しました。

6年生が出店したフリーマーケットも大盛況でした。子どもたちの作品展や発表に足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。



大正琴クラブの発表



児童の作品展

## 学習参観後には…子供たちにプラスの言葉かけを！

11月21日(火)に開催した学習参観にご参加いただき、ありがとうございました。今回の学習参観への参加率は、93%でした。毎回、多数の保護者にご参観いただき、子どもたちの成長を願う気持ちや学校に寄せる期待の大きさを感じています。

子どもたちのがんばる姿を見ていただけただけでしょうか。

子供は、がんばっているところ、前より少しでも成長したところを、誰よりもお父さん・お母さんに認めてほしいと思っています。お子さんの「がんばっていたところ」や「1学期からの成長」「嬉しかったこと」について、お子さんに具体的に伝えていただければありがたいです。

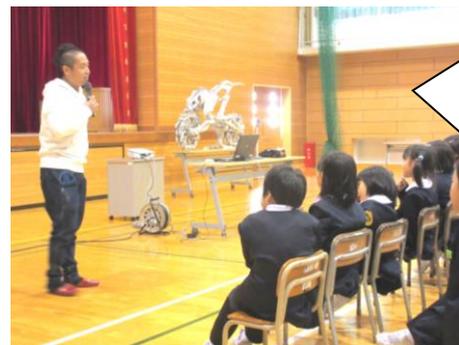
## PTA教養講座「見えるものと見えないもの」講師：清河北斗先生

学習参観後のPTA教養講座では、全校児童と保護者で黒部市在住の造形作家 清河北斗さんによる講演をお聞きました。

清河北斗さんは、黒部宇奈月温泉駅の地域観光ギャラリーやうなぎ友学館等に展示されているインパクトのある作品を制作されていることで知られる造形作家であり、小学校2年生と5年生の父親でもあります。数々の作品の写真や制作時の裏話、制作者だからこそのお話に引き込まれ、あっという間の40分間でした。

「どんなものにもつくった人の思いやつくる過程、つくられた背景がある。見えるものを通して、見えていない背景を考えることができれば、人生は豊かなものになる」「嫌いなものを『嫌い』で終わらせるのではなく、自分は何で、どんなところが嫌いなのかを考えることで、好きにはならなくても理解することができる」など、心に残るたくさんのお話を聞かせていただきました。見えるものから、そこに表れている見えない気持ちや背景に思いをはせることのできる感性を育てていきたいものだと思います。

お世話いただきましたPTA教養部会の皆様、ありがとうございました。



写真だけでなく、作品の実物も見せていただきました。

## 「児童引き渡し訓練」へのご協力ありがとうございました

学習参観・PTA教養講座終了後に、初めての「児童引き渡し訓練」を実施しました。これは、大型台風や大雪、暴風、地震、津波等の自然災害、Jアラートによる緊急情報が発令された場合等、通常の下校や教員付き添いによる集団下校では子供たちの安全が保障されない場合を想定し、緊急時の保護者への連絡や児童の引き渡しをスムーズに行うための訓練でした。

今回の訓練には、77名の保護者にご参加いただきました。初めての実施でしたが、皆様のご協力により、大きな混乱もなくスムーズに児童引き渡しを行うことができました。また、この訓練に向けて、教育安全メールに未加入だった保護者の皆様にも、多数加入していただき、加入率は95%以上となりました。

この訓練を通して明確になった課題や注意すべき点について改善し、次回の訓練に生かすとともに、「万が一の事態」に備えたいと考えています。参加されてのご意見や改善案がありましたら、連絡帳等でお知らせください。

## 「フレンド集会」で学習の成果を発表しています

本校では、毎週金曜日の「朝の活動」(8時15分～8時30分)に、「フレンド集会」(各学年や委員会による発表を行う全校集会)を行っています。学習して分かったこと、総合的な学習の時間や社会科・生活科の校外学習のまとめ、英語の歌や自己紹介等、内容は様々で、子供たちにとっては、学習の成果や自分の考えを発表する貴重な機会となっています。

11月17日の集会では、1年生が音楽の時間に練習した「きらきら星」をいろいろな楽器を使って表現したり合奏したりしました。1年生のがんばる姿に声援を送りつつ、真剣に聞いている2～6年生の姿がとても温かく感じられました。11月24日の集会では、図書委員会が、楽しい劇とクイズで図書室の正しい使い方を呼びかけました。

全校児童の前での発表のため、どの学年も、発表者は少し緊張気味ですが、終わった後には、「うまかった」「少し失敗したけれどがんばった」など、満足そうな表情になります。言葉に詰まったり、言い間違えたりする失敗はつきものですが、だからこそ、「一人一人が自分を表現する場」として、これからも大切にしていきたいと思えます。



### 【今後の主な行事予定】

- 12月 7日(木)・8日(金) 個別懇談会
- 12月22日(金) 第2学期終業式
- 平成30年 1月 9日(火) 第3学期始業式・校内書初大会・給食開始
- 1月26日(金) 4～6年スキー練習会(シーサイドバレースキー場)
- 2月 5日(月) 学習参観、学級懇談会、6年桜井中学校入学説明会
- 2月23日(金) 6年生を送る会
- 3月16日(金) 卒業証書授与式
- 3月23日(金) 修了式